

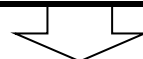
令和5年度 学校教育方針及び教育目標

宮崎県立農業大学校

教育方針	<p>農業県・宮崎における実践農業の教育機関として、校訓「自律・創造・協調」を基調とした教育により、将来、本県の農業を担う人材を育成する。</p>
------	---



学校の教育目標	<p>①「生産する力（生産技術）」を育む。 ○講義、演習、農場実習で「生産する力」の定着を図る。 ○インターンシップ、自主企画研修等の校外学習で「生産する力」の向上を図る。</p>
	<p>②「経営する力（経営スキル）」を育む。 ○農業経営科目の講義や農場実習で「経営する力」の定着を図る。 ○校外学習や『学生出資会社』で「経営する力」の向上を図る。</p>
	<p>③「課題を解決する力（課題を見つけ計画的な取組で解決する力）」を育む。 ○専攻実習における『プロジェクト学習』で「課題を解決する力」の定着を図る。 ○『地域連携型プロジェクト学習』で「課題を解決する力」の向上を図る。 ※高校、農家・農業法人、関係機関等とのコンソーシアム方式による連携・共同プロジェクト学習</p>
	<p>④社会性を育む。 ○農家・農業法人における研修、企業連携新商品開発、流通・販売学習を通し、地域社会において積極的に活動し、「ネットワークを構築する力」の定着を図る。 ○『地域連携型プロジェクト学習』を通して「社会で活躍する力」の向上を図る。 ○学生自治会活動や寮生活を通して「コミュニケーション力」や「協調性」の向上を図る。</p>



各学科が育成する人材像	農学科	畜産学科
	<p>本県で主に栽培されている品目を教材に取り上げ、その特徴や栽培技術、商品化技術、農産物の加工・販売についての実践学習を通して、高度な生産技術と経営スキルを身につけ、将来、本県農業に夢を持って意欲的に取り組む人材を育成する。</p>	<p>本県で主に飼育されている畜種を教材に取り上げ、その特徴や飼育管理・繁殖管理・肥育管理技術、出荷の方法、畜産物の加工・販売についての実践学習を通して、高度な生産技術と経営スキルを身につけ、将来、本県畜産業に夢を持って意欲的に取り組む人材を育成する。</p>
	フードビジネス専攻	
	<p>農産物・畜産物を利用し、消費者に安全で高品質の製品を提供するため、HACCPの考え方を取り入れた衛生管理、食品加工技術の向上、食品関連産業との連携による新商品開発力、学生出資会社の運営による流通・販売に至るまでの学習を通して、将来、本県のフードビジネスに幅広く対応できる柔軟な発想力とスキルを身に付けた人材を育成する。</p>	